

ホタル通信

No.142-1 2015.11.28
小山のホタルと自然
を守る会 事務局
(042-797-1851)

[HP:<http://www.oyama-hotaru.com/>]

ホタル発生の川筋の 整備が進んでいます。



これは、ホタルの幼虫、カワニナ等の水棲動物の遊び場を作っています。水は流れている事も重要ですが、このような小さな池のような水のたまり場で、カワニナは落葉等の餌を食べ成長し、繁殖する事が多いのです。そしてホタルの幼虫は、そのカワニナを餌にして成長します。

ホタルの幼虫は、およそ 10 ヶ月、こうした水の中で生活し、成虫へと大きくなっていきます。



これは、池みたいな所にいるカワニナです。ホタルの幼虫の餌から逃れたカワニナですね。大きくなっています。このようなカワニナが子どもを産み、更に増え、ホタルの餌を増やしていきます。そんな環境が必要なのです。

水のながれる小さな池はあと2つ欲しいですね。

作業をします

日時:12月13日(日)9時30分～
川筋の整備とホシザクラの幼木の保護をします。
作業のあと「バーベキューと懇談」をします。雨天延期、11時30分頃から
会費1,000円です。



みえますか。これも水中動物のホトケドジョウ(右上)とミズスマシ(左下)です。この水中動物はホタルの幼虫の餌になるわけではありませんが、一緒に生活しています。

陸上がりをしたホタルの幼虫が、サナギになり成虫になり、更には成虫が卵を産む所が必要です。それはこのような所がなるのでしょうか。



周りに生える草は多少川に覆いかぶさった方が良く、落葉等が餌になるものが良いですね。竹類は繊維質が多く餌には良くなく、大きくなり日当たりも良くなるので、遠慮させています

ホシザクラ、ヤブザクラの幼木が保護されています。

(142-2)

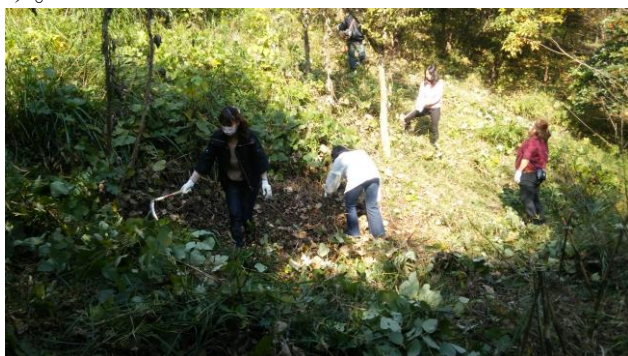
この他にも多くの人達が観察に見えました。毎年ですが、近くの小学校(小山小学校, 小山中央小学校)4年生全員が、総合学習できます。小山小学校の生徒は今年4回見え、一回は、自分で問題を考え、自由に探検して回りました。



竹の三角柱で保護されています

ホシザクラとヤブザザクラは、根を伸ばしていき子どもの木の芽を出すのですが、谷戸を歩いた時とか、下草刈りをするとき等、見えなくて痛めてしまうことがあります。又、環境に敏感で、周りの木に覆いかぶさられたり、大きな木の木蔭になったり、北向き斜面に生えたりして、日当りの悪いところでは、なかなか成長してくれません。そのような事がないように保護しています。

それはこの様な作業によっても支えられています。



イムラ封筒さんの CSR 活動による下草刈

イムラ封筒さんは作業の合間を見てカワニナ等の観察をしました。



小山小学校4年生
このときは野鳥の話を中心に聞いています。



自分で考えた問題の答を探そうと谷戸の中を探検して歩き回っています。



川筋を見て、答えを探そうとしています。

小山小学校の4年生から「谷戸観察の感想文」が来ています。回覧しますので、見て下さい。